

ヨーロッパの統合を通貨ユーロと資料で理解する。必要な物は、ユーロ紙幣。できるだけ、バリエーションがあった方がいい。実践では、5ユーロ紙幣と20ユーロ紙幣を持ち込んだ。

指示 地図帳の（ヨーロッパのページ）を開きます。

指示 ヨーロッパの国々の地図を見て、わかったこと気づいたこと思ったことをノートに書きなさい。

（発表させる）

説明 ヨーロッパの国々は数が多いからこそつながろうとしています。代表例は、EUです。

発問 EUに加盟している国々はどんな国々がありますか？

（資料集・地図帳で探させ発表させる）

発問 EUのほとんどで使われている通貨は何ですか？

（ユーロ）

発問 本物みたいですか？

（ちょっとじらして、班ごとに見せる）

指示 気づいたことを発表しなさい。

（形、色など、そして、窓や橋がデザインされていることがでてくるとよい）

発問 日本の紙幣には、人物が書いてあるけれど、どうして橋や窓なのでしょう？

（国と国をわたすもの、国を開く？、仲良くする）

発問 仲良くすることで、できることはどんなことでしょうか？

発問 （国境をまたいでいる人の写真を見せて）これは、どこの写真でしょう？

（国境線！）

発問 国境線をまたげるということは、どのように人は移動できるのですか？

（自由に移動できる。）

説明 そうですね。自由に移動できるから、パスポートもいらなのです。また、先生が他の国で先生をすることもできます。自由に貿易をすることもできるのです。

発問 そのほかにも、まとまることでできることができます。（エアバスの飛行機を見せて）どこで、作られているのでしょうか？

（ドイツ、フランス…）

説明 そうですね。いろんな国が得意な分野で飛行機の部品をつくり、組み立てているのです。

発問 ところで、飛行機などを作って、売らないと意味がありませんよね。

発問 (ボーイングの飛行機を見せて) 飛行機を作っている大きな国はどこですか？

(アメリカ)

発問 EUはアメリカに対して、どうしようとしていますか？

(対抗する, 競争する)

説明 EUに加盟することで、ものの自由, カネの自由, そして貿易などの自由もできるようになります。それと、アメリカに対抗して競争するためにまとまっているのです。